

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年3月27日～3月31日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
3月27日	メガフロート損傷箇所の補修状況の確認	免震重要棟集中監視室	○メガフロートの補修状況について聞き取りを行った。水中カメラによる調査の結果、3箇所に亀裂が発見され、テトラポッドに衝突したことが原因として推定されたとのことだった。亀裂はパテで補修したとのことだった。	10時46分現在
	凍土遮水壁の状況確認	免震重要棟集中監視室	○凍土遮水壁の温度データを確認した。若干凍結が進んでいるようだった。	
3月28日	フランジ型タンク解体片除染設備の設置状況確認	大型機器点検建屋	<u>○フランジ型タンク解体片除染設備の設置状況を確認した。大型機器点検建屋は基礎が整備され、門型クレーンが2基設置されていた。</u>	11時23分現在
3月29日	2号機セメントブロワ室解体工事の状況確認	2号機原子炉建屋周辺	<u>○2号機ヤード整備工事のうち、セメントブロワ室解体工事の状況を確認した。ブロワ室の解体はほぼ完了し、基礎を残すのみだった。解体で発生したコンクリートガレキが現場に置かれていた。また、ダスト飛散防止のための散水設備やダストモニタも設置されていた。</u>	11時15分現在
3月30日	メガフロートの状況確認	物揚場	<u>○メガフロートが消波ブロックに衝突することを回避するため、10m程南に移動されていた。</u>	12時00分現在
	3号機タービン建屋防水性向上工事の状況確認	3号機タービン建屋 プロセス主建屋周辺	<u>○3号機タービン建屋とプロセス主建屋の開口部をふさぐ津波対策の状況を確認した。前回確認時(1月23日)と変化はなかった。</u>	
3月31日	汚染・破損車両解体作業の状況の確認	ガレキ一時保管エリアW1 (汐見坂北側)	<u>○汚染・破損車両の解体作業の状況を確認した。汚染車両は表面線量ごとにマーキングされ、保管されていた。車体をプレスしたのち、比較的線量の高いものはコンテナに保管するとのことだった。最初の1週間はダスト測定しながらプレスしていたものの、放射能は全て不検出だったため、現在は測定していないとのことだった。</u>	11時40分現在
	1号機建屋カバー梁取り外し作業の状況の確認	物揚場付近	<u>○1号機建屋カバー梁取り外し作業を確認した。北面の梁の取り外しが終了し、物揚場に外した梁が置かれていた。</u>	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。